

まちづくり市民会議「第2小委員会」関係課意見交換会議事録

■日 時	2009年2月12日（木）午後6時～8時
■場 所	太田市役所 10階 政策推進会議室
■出席者	福島会長、西村委員長、森尻副委員長、内田委員、栗原委員、後藤委員（委員6名） 環境政策課：岡田参事、酒井参事 リサイクル推進課：鈴木課長、植木課長補佐 清掃施設管理課：森尻参事、金谷参事 健康教育課：阿藤参事、荻野課長補佐 文化財課：茂木参事、遠坂主任 企画政策課：田中課長補佐、奥川係長代理、正田主任 (市13名)

【概要】

1. 会議の目的

1月に提出した提言書の内容に対し、関係各課がどのように考え、また、どのように対応していくか、を確認するため、今回の意見交換会を実施した。

2. 意見交換の内容

- 意見交換の座長は福島会長が務めた。

（1）地球温暖化対策と自然環境を守るまちづくりの提言

●まちづくり市民会議の主な意見

- 地球温暖化対策で今必要なのは、各家庭での取り組みである。一般市民にその気運が高まる必要がある。様々な取り組みによって、実際にどのくらいの効果が出たかという結果や情報を公表してほしい。理解することによって初めて市民が本気でやる気になるのではないかな。
- 国や県がやることに歩調を合わせるのではなく、太田市としてできることから始めるなど、全国に先駆けてやっていってもいいのではないかな。
- ごみの分別収集によって、どれだけ環境に対する効果があったか、また税の節約になったか、などを情報公開してほしい。
- プラごみ等の収集回数が増やせないなら、なぜ出来ないかという理由を公開するべきである。そうすることで、市民が理解し納得できれば、市民としてもっと協力ができるようになるのではないかな。
- いずれの問題にしても、情報公開は欠かすことのできないものである。全てをさらけ出さないと、市に対する不信感がつる。
- 分別回収などは、説明書を配布しただけでは、理解できない場合もある。また、かけ声だけでもやる気にならない。職員を派遣して説明するなど、市民の立場

に立って考えてほしい。

●関係課の主な意見

【環境対策課】

- ・ 太陽光発電に対する補助は今後とも継続していく。
- ・ 平成21年度予算へ、エコキュートへの補助金を計上した。エコキュート導入による環境への効果実績を、広報おおたやホームページへ掲載し、周知していく予定である。
- ・ ライトダウンを全国キャンペーンにあわせ34施設で実施し、約700kWの節電ができた。引き続き実施し取組を広げていきたい。
- ・ 小中高生の環境関係部署への職場体験を積極的に受け入れることや、総合学習の時間に出かけていくなど、積極的に地球温暖化防止への取組をPRしていく。
- ・ 自然環境については、これまで市民活動によって支えられてきたことが大きい。市民の専門家集団を育て、行政がそれを後押ししていくことも一つの方法であるとする。
- ・ 環境教育は、まず広報おおたを利用していきたい。平成21年度からは、職員の手作りで市民にわかりやすいものを予定している。

【リサイクル推進課】

- ・ 利便性を追求すると経費がかかりすぎてしまう。
- ・ ごみの減量化に対する県の方針ができた。市町村で個別に対策するより効率的なため、県の方針に従っていきたい。
- ・ 提言書のあるべき姿を実現するため、部としての意思統一を図っていきたい。

【清掃施設管理課】

- ・ ごみ処理にかかる経費等は、関係課と連携し、わかりやすく公表していきたい。
- ・ リサイクルプラザの施設見学は、今後も受け入れを続け、施設を見てもらいながら説明をしていきたい。

【企画政策課】

- ・ 環境問題は多岐にわたっているため、関係各課の調整会議を設け、連携していきたい。

(2) 市民の健康づくりと伝統文化（観光）の総合政策の提言

●まちづくり市民会議の主な意見

- ・ 市は、新たに事業を始めるときは、メンテナンスなどの維持費がかかることを考慮すべきだ。既存のものをできるだけ活かし使用しながら改善を図っていくべきである。

●関係課の主な意見

【文化財課】

- ・ ウォーキング・サイクリングコースについて、規格、基準を関係課と協議していきたい。
- ・ マイシティおおたのマップに文化財を掲載した。
- ・ 地域に受け継がれている伝統や風習などを記録に残していくことは、老人会な

どにも調査し、検討していきたい。

- ・ 公共の乗り物や車で行き、周回可能なウォーキング・散策コースは、前向きに検討したい。
- ・ 名所旧跡や観光拠点などとサイクリングコースを連結した、健康づくりとレジャーを兼ねた環境整備は、県との協力によって検討していきたい。

(3) 健全な子供たちを育むまちづくりの提言

●まちづくり市民会議の主な意見

- ・ 古い人間が少なくなり、親への教育が必要になった。3世代同居による世帯構成が望ましいのではないか。
- ・ 食育についての最大問題は、食育に全く無関心な親達への教育をどうしたらよいかである。
- ・

●関係課の主な意見

【健康教育課】

- ・ 学校給食を通じて食育を行っている。また、地元農産物の導入も増やしていく予定である。
- ・ 平成21年度より食育が義務付けられることや、市単独での栄養士の配置も増えており、今後も食育を推進していく。

3. 全体のまとめ

市民会議のメンバーは、2年に渡り「市民の目線」を重視し、真剣に考え、討議してきた。ひとつでも多くの提言があるべき姿になるとよい。地道な取り組みが必要で、結果がすぐには出ないものもあるが、あるべき姿に少しでも近づくことができるよう、今すべきことは何かを考え実行してほしい。3月27日の定例会では、提言に関する進捗状況を報告してほしい。